

# まちづくり評価シート

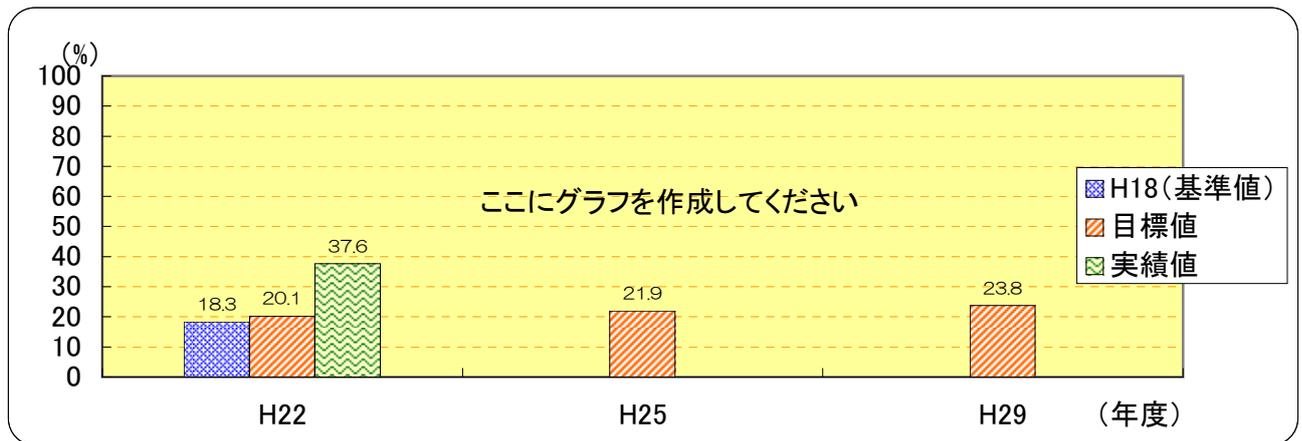
## 教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

教育課【担う柱:1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり】

### ◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 学校・家庭・地域との関わりの中で、児童・生徒が自ら学ぶ力をもち、心豊かにいきいきと育っている

指標名	学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身についていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	20.1	学校補助教員や特別支援学級等支援職員を配置し、少人数指導やチームティーチングを実施することにより、児童・生徒が個々の学習状況にあった、きめ細かな指導や支援を行うことができた。また、学校施設や設備の整備、学校の耐震化を前倒して実施したことにより、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができた。このため、平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果は37.6%となり、達成状況としては、晴れマークが表示され、目標値を上回ることができた。一方、地域の人にあいさつする児童・生徒の割合は微増ながらも、目標値を達成できなかった。また、朝食を食べない児童・生徒の割合は依然として高く、正しい食習慣を身につけ健康に育つように、食育指導にもいっそう力を入れ、今後も達成率を向上できるように努めていく。
実績値	%	18.3	37.6	
達成率	%	—	187.1	
達成状況	—	—		



#### 全体目標に対するまちづくり評価

平成22年4月に実施した市民満足度調査結果は37.6%となり、達成状況としては目標値を上回っている。しかし、地域の人にあいさつする児童・生徒の割合は依然として低く、また、朝食を食べない児童・生徒の割合は依然として高い状態にある。今後も学校・地域・家庭が連携し、子どもたちの社会性、人間性を育てていく取り組みをしていただきたい。

学校は一般的に閉鎖的でないやすいので、学校評議員を広く求め、その見識を活かして学校教育の専門性や客観性の保持と情報公開を図ることにより、より一層の地域に開かれた学校づくりを進めていただきたい。

#### 個別目標① 児童生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている

指標名	学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	87.5	88.8	90.0	学校補助教員配置事業
実績値	%	85.0	90.0	88.2		
達成率	%	—	102.9	99.3		
達成状況	—	—				

#### 取り組みの状況

市民	子どもを毎日学校に通わせ、適切な教育を受けさせている。
市役所	少人数指導やチームティーチングの実施により、児童生徒は個々の学習状況にあった指導や支援ができる体制をとった。

指標名	特別支援学級等支援職員配置人数					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	10	11	12	・特別支援学級等支援職員配置事業
実績値	人	8	10	10		
達成率	%	—	100.0	90.9		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	一宮児童相談所・一宮東養護学校・子育て支援課などの関係機関との交流や情報を確認しつつ、家庭での学習や正しい生活習慣を身につけさせている。					
市役所	情緒障害、多動性障害等の児童生徒の教育支援を行なったことにより、教育内容を高めることができた。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>補助教員を配置することについては、各学校の学級数により、適正な職員配置を図る上で、今後も職員の増員を考慮することが必要である。</p> <p>特別支援学級等支援職員の配置については、学校の実情調査をしながら、適正な職員の配置を図っているが、これに併せ、職員の増員や時間数を増やすことなどが必要である。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>発達障害のある児童生徒の教育ニーズにきめ細かく応え、授業を正常に運営するため支援職員の増員が必要であるので、この点についての検討をさらに進めていただきたい。</p>	

**個別目標② 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている**

指標名	地域の人にあいさつする児童・生徒の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	83.6	85.3	87.0	・生徒指導推進事業
実績値	%	80.2	73.5	76.0		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地域の子どもたちに目を向け、非行に走らないように声かけをし、あいさつを交わしたりしながら、互いの信頼関係を築いている。					
市役所	啓発・情報交換・実践活動等により、中学校区を単位として学校、家庭、地域が連携を図り、非行防止等を啓発した。					

指標名	職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	事業所	—	287	293	300	・生徒進路指導事業
実績値	事業所	273	283	324		
達成率	%	—	98.6	110.6		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	事業所は積極的に職場体験学習の生徒を受け入れている。
市役所	生徒自身の生き方について職場体験、啓発的体験を得ることにより、生徒が進路を主体的に考え、選択する能力の育成を図った。

指標名	地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合					主な事務事業 ・学校評議員事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	74.3	76.6	79.0	
実績値	%	69.5	76.0	61.0		
達成率	%	—	102.3	0.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	学校評議員や地域の人々が気軽に訪問し、学校に対して情報等を提供するような学校づくりを支援している。
市役所	各学校が、学校評議員から意見を聞き、学校が家庭や地域と連携しながら特色ある教育活動が展開できた。

目標達成のための今後の展開方針	
<p>学校、家庭、地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。 ハローワーク、商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、受け入れ事業所の拡大を図る。 学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>学校は一般的に閉鎖的でないやすいので、学校評議員を広く求め、その見識を活かして学校教育の専門性や客観性の保持と情報公開を図ることにより、より一層の地域に開かれた学校づくりを進めていただきたい。</p>	

**個別目標③ バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている**

指標名	学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【小学校】					主な事務事業 ・給食調理事業 ・給食企画事業 ・食育事業 ・給食用物資購入事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	98.0	98.0	98.0	
実績値	%	98.3	94.0	86.0		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき地域交流が図れている。
市役所	小中学校へ、給食時間の訪問を行い食育指導を実施した。また、ティームティーチング授業においても食育指導の実施をした。

指標名	学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【中学校】
-----	----------------------------

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.0	98.0	・給食調理事業 ・給食企画事業 ・食育事業 ・給食用物資購入事業
実績値	%	95.7	94.1	97.0		
達成率	%	—	0.0	99.0		
達成状況	—	—				

#### 取り組みの状況

市民	食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき地域交流が図れている。
市役所	小中学校へ、給食時間の訪問を行い食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導の実施をした。

指標名	朝食を食べない日がある児童・生徒の割合【小学校】					
-----	--------------------------	--	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	0.0	0.0	0.0	・給食調理事業 ・給食企画事業 ・食育事業 ・給食用物資購入事業
実績値	%	7.3	13.0	8.0		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—				

#### 取り組みの状況

市民	食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき地域交流が図れている。
市役所	小中学校へ、給食時間の訪問を行い食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導の実施をした。

指標名	朝食を食べない日がある児童・生徒の割合【中学校】					
-----	--------------------------	--	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	8.4	5.7	3.0	・給食調理事業 ・給食企画事業 ・食育事業 ・給食用物資購入事業
実績値	%	13.8	17.4	25.0		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—				

#### 取り組みの状況

市民	食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき地域交流が図れている。
市役所	小中学校へ、給食時間の訪問を行い食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導の実施をした。

指標名	学校給食における地場産物の割合					
-----	-----------------	--	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	35.0	35.0	35.0	・給食用物資購入事業
実績値	%	20.0	27.0	28.5		
達成率	%	—	77.1	81.4		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	献立に沿って安価で栄養バランスに富んだ地域農産物を含めた食材を、学校からHPなどで発信することによって毎日の給食の内容が地域の方へも伝わり給食の理解が深まった。
市役所	給食センター運営委員会を開催し、年間給食実施計画、物資納入業者の選定を行った。献立作成委員会を開催し、献立に沿って安価で栄養バランスに富んだ地域農産物も含めた物資を、物資選定委員会で協議し選定をした。

目標達成のための今後の展開方針	
<p>安価で良質かつ安全な食材の選定し、栄養教諭・学校栄養職員の献立を基に小中学校の給食担当教諭と協議する。</p> <p>望ましい食生活について、効果的・効率的に児童生徒に指導し、PTAの試食会を通して偏食による肥満や生活習慣病についての講義を行う。</p> <p>北部給食センターの調理事業を民間委託する方向で検討しているが、現在の職員体制を考慮すると、当分職員の退職者も見込むことが出来ないなか、今後慎重に調査研究及び検討を重ねることとした。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
望ましい食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を発信源として、肥満などの生活習慣病を地域へPR活動をすることで、地域交流が図れるよう努めていただきたい。	

**個別目標④ 教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童生徒が学習活動に取り組んでいる**

指標名	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童生徒が学習していると思う市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	29.7	30.4	31.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時職員配置事業</li> <li>・教材整備事業</li> <li>・学校管理運営事業</li> <li>・教職員研修事業</li> <li>・校長会・教頭会事業</li> </ul>
実績値	%	28.3	—	—	46.8	
達成率	%	—	—	—	150.5	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	児童・生徒及びPTA並びに地域住民の清掃活動等により、学校施設及び周辺の美化環境が保持されている。
市役所	給水、電気、昇降機を始めとする各種学校設備の保守点検を行うとともに、普通教室数不足により臨時校舎の借り上げをした。

指標名	学校施設の耐震化率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	61.9	70.9	72.7	・校舎等耐震補強事業
実績値	%	61.8	69.6	83.9		
達成率	%	—	112.4	118.3		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	工事の実施に当たっては、児童、生徒、保護者などに不都合、不自由を生じるが、理解と協力により順調に工事が進んでいる。
市役所	耐震診断結果に基づき、各小中学校の校舎及び体育館の耐震補強工事を実施した。

## 目標達成のための今後の展開方針

学校施設の耐震化を早期に完了する。  
学校施設整備として、校舎の改造及びプールの改築・改修計画を作成する。

## 個別目標に対するまちづくり評価

学校施設の耐震化を計画どおり早期に完了し、校舎の改造及びプールの改築・改修を推進してほしい。

## 柱全体のまちづくり評価

### ◆柱全体の得られた成果

中学校区を単位として、啓発・情報交換・実践活動等を学校、家庭、地域が連携を図り、非行防止等の活動が実施され、即座の対応が図られた。  
職場体験等を実施した結果、その経験により生徒が自分自身で進路の選択する能力の育成を図ることができた。  
地域の中の学校として、学校、家庭、地域が一体となった情報の共有が図られた。  
食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病などの理解を深めることができた。

### ◆柱全体の今後の課題

学校だけの対応は困難な状況であるため、地域との連携が不可欠である。  
職場体験学習において、関係機関とさらに連携を密にして、受け入れ事業所の拡大を図る必要がある。  
学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進しなければならない。  
安価で良質かつ安全な食材を選定する。また、食育や望ましい食生活について、指導のみでなく、地域へのPRも必要である。

### ◆柱全体の今後の取り組みの方向性

学校、家庭、地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。  
ハローワーク、商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、受け入れ事業所の拡大を図る。  
学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進する。  
食育や望ましい食生活について、児童生徒に指導するとともに、PTAの試食会等を通して地域へのPRを行う。

# まちづくり評価シート

## 教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

教育課【担う柱:2 将来にわたって活躍できる人づくり】

### ◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 良好な教育環境が構築され、青少年の健全な育成が図られている

指標名	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H22	
目標値	%	—	31.6	教育委員会会議の定期的な開催、教育現場の訪問、他都市との意見交換などを通じて、情報を収集し、教育課題に迅速に対応したことにより、望む教育を受ける環境が整っていると感じる市民の割合はほぼ目標を達成することができた。このため、平成22年4月に実施した市民満足度調査結果は38.7%となり、達成状況としては晴れマークが表示され、目標値を上回ることができた。一方、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題となっている。
実績値	%	30.1	38.7	
達成率	%	—	122.5	
達成状況	—	—		



#### 全体目標に対するまちづくり評価

平成22年4月に実施した市民満足度調査結果は38.7%となり、達成状況としては目標値を上回っている。これは青少年健全育成のために実施した街頭補導や街頭啓発の効果によるところもあると思われるが、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題であるため、学校・家庭・地域が協力して取り組むよう努めていただきたい。

#### 個別目標① 地域社会が教育に関心をもち、望む教育を受ける環境が整っている

指標名	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	35.5	36.0	36.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会運営事業</li> <li>教育調査事業</li> <li>教育文化振興基金積立事業</li> <li>表彰事業</li> <li>横田教育文化振興事業</li> </ul>
実績値	%	35.0	—	—	35.9	
達成率	%	—	—	—	98.4	
達成状況	—	—	—	—		

#### 取り組みの状況

市民	教育委員会会議を傍聴したり、議事録をホームページにて閲覧した。文化的教養の向上や教育的効果のある取り組みを行った。
市役所	教育委員会会議を年間15回開催し、教育現場を訪問するなどして、教育の場を構築し、教育課題等諸問題について、迅速に対応した。また、文化的教養の向上又は教育的効果が認められたものに、栄誉を称え広く市民に知らせた。

目標達成のための今後の展開方針

教育課題に迅速かつ的確に対応するため、情報収集及び研修等を行う。  
また、外部評価員による「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」を行い、教育実態の把握に努めるとともに、地域住民の要望、意見等を取り入れながら、地域ぐるみで教育行政を推進する。

個別目標に対するまちづくり評価

市民が気軽に学校を訪問できるような環境づくりを進めてほしい。  
学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加してほしい。

個別目標② 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

指標名	不登校の児童・生徒数の割合【小学校】					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	0.4	0.4	0.3	・心の教室相談員配置事業 ・適応指導教室事業 ・いじめ・不登校対策事業
実績値	%	0.5	0.3	0.6		
達成率	%	—	133.3	0.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討した。					
市役所	各小学校に心の教室相談員を配置し、児童の悩みなどの相談を受けた。 不登校児童のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。					

指標名	不登校の児童・生徒数の割合【中学校】					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	3.6	3.2	2.7	・心の教室相談員配置事業 ・適応指導教室事業 ・いじめ・不登校対策事業
実績値	%	4.5	4.3	3.7		
達成率	%	—	83.7	86.5		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討した。					
市役所	各中学校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みなどの相談を受けた。 不登校生徒のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。					

指標名	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	52.0	52.5	53.0	・ことばの教室事業 ・放課後子どもプラン事業 ・青少年問題協議会事業 ・少年センター事業 ・青少年健全育成推進事業
実績値	%	51.5	—	—	50.6	
達成率	%	—	—	—	0.0	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	布袋小学校、宮田小学校、古知野南小学校の「放課後子ども教室」に参加した。青少年問題協議会で、青少年育成の基本方針を決定する。また青少年健全育成のために、街頭啓発を行ったり、講演会に参加した。
市役所	小学校の余裕教室や体育館を利用して「放課後子ども教室」と「学童保育」を総合的に実施した。青少年の指導・育成等に関する調査・審議を行い、青少年育成の基本方針を決定した。また、少年相談窓口を開設し、街頭補導を実施した。青少年健全育成のために、街頭啓発、講演会を実施した。

目標達成のための今後の展開方針
いじめ不登校対策として、適応指導教室「You・輝」、心の教室相談員、少年センター相談員配置事業の充実を図り、相談を受けやすい体制を整え、学校生活を安心して教育を受けやすくできるようにする。地域でのボランティア活動や体験活動の情報提供を行い、青少年の社会性、人間性の育成に努める。放課後の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、学童保育と放課後子ども教室を一体的、あるいは連携した取り組みに努める。

個別目標に対するまちづくり評価
いじめ不登校対策として、適応指導教室「You・輝」、心の教室相談員、少年センター相談員配置事業の充実を図り、相談を受けやすい体制を整え、安心な学校生活を支援していただきたい。

## 柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
教育現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換をした。教育委員会会議においては、教育の課題、施策等について教育委員会委員と積極的に審議、意見交換をした。

◆柱全体の今後の課題
学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加し、教育現場の現状や課題を的確に把握する。平成20年4月から教育委員会会議の内容をホームページで公開しているが、今後も情報公開を積極的に進めていく必要がある。 心の悩みを抱える児童・生徒やいじめ不登校問題は大きな課題であり、学校評議員を地域の中から広く求め、学校・家庭・地域住民が協力して取り組む必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
学校評議員を地域の中から広く求め、学校・家庭・地域住民が連携し、地域住民の要望、意見等を取り入れながら、地域ぐるみで教育行政を推進し、社会に貢献できる人材を育む。

# まちづくり評価シート

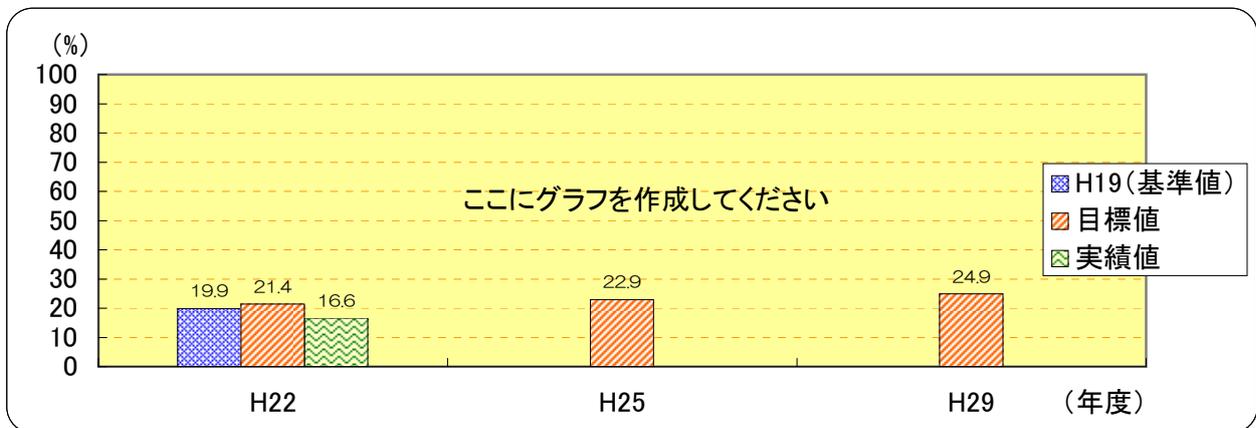
## 教育部【担う分野:IV 教育分野】

生涯学習課【担う柱:3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり】

### ◆まちづくり（成果目標）の達成状況

**全体目標** 市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている

指標名	生涯学習活動に参加している市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H22	
目標値	%	—	21.4	平成21年度に実施した公民館講座は271人受講者があり、年齢層は60歳以上が多く、高齢者教室も約900人受講者がいることから、若年層及び勤労者層の生涯学習活動への参加が少ないと思われる。また、安定した仕事に就けない、仕事に追われ健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られるような、最近の社会環境の変化が、余暇の時間の過ごし方にも少なからず影響を与えていると思われます。このため、平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果では16.6%という結果になり、達成状況としては雨マークが表示され、目標を達成できていない。
実績値	%	19.9	16.6	
達成率	%	—	0.0	
達成状況	—	—	↓	



**全体目標に対するまちづくり評価**

平成22年4月に実施した市民満足度調査結果では16.6%という結果で、基準値である平成19年度の19.9%を下回り、目標は達成できていない状況であるため、今後、目標が達成できるよう情報提供やPR方法の工夫をしていただきたい。

**個別目標①** 市民が、自発的な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている

指標名	生涯学習講師人材バンク登録者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	138	144	150	企画運営事業
実績値	人	126	140	139		
達成率	%	—	101.4	96.5		
達成状況	—	—	☀	☀		

取り組みの状況	
市民	PTA活動、子ども会活動などの行事において、生涯学習人材バンクを利用し、講師の依頼をした。
市役所	広報こうなん、ホームページによる啓発活動や公民館サークルへの登録依頼を行った。生涯学習人材バンクの一覧を作成し、学校、公民館、子育て支援センターなどへ配布した。

指標名 愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	2,056	2,078	2,100	・成人教育事業
実績値	人	2,011	2,389	1,908		
達成率	%	—	116.2	0.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市と愛知江南短期大学が連携して実施した公開講座、公開講演会、オープンカレッジに参加した。					
市役所	愛知江南短期大学と連携し、公開講座、公開講演会、オープンカレッジの開催に向けての準備を行い、公開講座等を開催した。					

指標名 一人あたりの図書等の貸出し点数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	冊	—	3.6	3.9	4.2	・図書館管理運営事業
実績値	冊	3.3	3.9	4.1		
達成率	%	—	108.3	105.1		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	インターネットや利用者端末を利用し、図書の検索を行い貸し出しを受けた。図書館主催の読み聞かせ会、手作り絵本教室、ウッドバーニング等に参加した。					
市役所	市の施設において配本・返却サービスを実施し、利用者の利便性の向上を図った。					

目標達成のための今後の展開方針						
<p>人材バンクの活用をより活発なものにするため、市民だけでなく、学校や団体等にも呼びかけ、幅広い人材を確保し、また利用の促進を図っていくためのPRを行う。</p> <p>公開講演会への参加を呼びかけるため、広報や市ホームページだけでなく新聞への掲載や、市の施設以外の多くの市民が集まる場所へのチラシの配布などを行う。</p> <p>情報交換により市民サービスの向上を図ることが出来るよう、ボランティア同士が連携する場を設ける。</p>						

個別目標に対するまちづくり評価						
<p>各種団体に積極的にPRなどを行い、多様なニーズに対応した人材確保に努めていただきたい。</p> <p>公開講演会等の参加者を増やすため、愛知江南短期大学との連携を図り、積極的に開催をPRしていただきたい。</p> <p>ボランティアによる読み聞かせなどで、多くの集客を得ていることは評価できる。さらに、ボランティア同士の連携を図り、市民ニーズの把握やサービス向上に努めていただきたい。</p>						

**個別目標② 市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる**

指標名 屋内のスポーツ施設の稼働率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	85.0	85.0	・体育施設等管理運営事業 ・学校体育施設開放事業
実績値	%	84.1	87.7	78.4		
達成率	%	—	103.2	0.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	土曜日・日曜日に、体育協会加盟競技団体等が大会を実施した。 月曜から金曜日までは加盟競技団体等が使用した。
市役所	土曜・日曜日等の利用について、体育協会加盟団体等と調整会議を開催し、各団体が施設を効率的に利用できるように努めた。

指標名 屋外のスポーツ施設の稼働率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・体育施設等管理運営事業 ・学校体育施設開放事業
目標値	%	—	30.8	31.9	33.0	
実績値	%	29.7	33.0	34.5		
達成率	%	—	107.1	108.2		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	土曜日・日曜日に、体育協会加盟競技団体等が大会を実施した。
市役所	土曜・日曜日等の利用について、体育協会加盟団体等と調整会議を開催し、各団体が施設を効率的に利用できるように努めた。

指標名 コミュニティ・スポーツ祭参加者数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・各種スポーツ大会開催事業
目標値	人	—	5,400	5,600	5,800	
実績値	人	5,289	6,217	6,788		
達成率	%	—	115.1	121.2		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	コミュニティ・スポーツ祭に参加して、近隣の方との交流ができた。
市役所	10小学校区において、魅力あるコミュニティ・スポーツ祭を実施できるよう実行委員会に働きかけた。

目標達成のための今後の展開方針	
安全で快適な施設の利用環境を構築するため、施設の老朽化に伴う改修および施設の耐震化などを計画的に整備していく。	

個別目標に対するまちづくり評価	
市民が身近に参加できるスポーツ大会であるコミュニティ・スポーツ祭に多くの市民が参加し、地域の交流ができたことは、評価できます。しかし、屋内施設については稼働率が低下し、平成18年度の基準値を下回っています。体育協会加盟団体等と調整会議を開催し、各団体が施設を効率的に利用できるように努め、稼働率の維持に努力している中、このような結果になった要因の一つには施設の老朽化が、安全で快適な施設の利用環境の構築を阻害し、施設の稼働率の低下につながっているのではないかと考えられます。今後は利用者が、安全で快適に施設を利用できるよう施設の改修および耐震化などを計画的に整備していただきたい。	

指標名		審議会などにおける女性委員の登用率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	21.7	23.4	25.0	・男女共同参画推進事業
実績値	%	18.4	23.4	26.1		
達成率	%	—	107.8	111.5		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	男女共同参画について、理解を深める講演会等に参加した。 市が主催する委員会等の委員に公募した。					
市役所	各課に対し、審議会等の委員の改選期には、女性委員の登用率が全体の30%以上になるように、積極的な登用を依頼した。 また、職員の男女共同参画への理解のため、研修会を行政経営課が行った。					

指標名		男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合				
	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	70.0	70.0	70.0	・男女共同参画推進事業 ・男女共同参画都市宣言事業
実績値	%	60.5	80.2	67.3		
達成率	%	—	114.6	96.1		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	男女共同参画都市宣言の宣言文についてのパブリックコメントに意見を提出した。 男女共同参画都市宣言記念式典で、表彰される一行詩、写真を応募した。 男女共同参画について、理解を深める講演会等に参加した。					
市役所	男女共同参画を推進するため、今年度は男女共同参画都市宣言記念式典を開催し、同時に講演会を開催した。 男女共同参画に関する一行詩、写真を募集し優秀者を男女共同参画都市宣言記念式典で表彰した。 広報、ホームページに男女共同参画についての記事を掲載し啓発に努めた。 区長に依頼をし、区の回覧板で、「男女共同参画都市宣言」を回覧することで市民への周知に努めた。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>思いやりと感謝の精神を持ち、介護や子育てなどのあらゆる分野の活動で、男女が対等に参画し、協力しあう男女共同参画社会が形成されたまちづくりを推進するため、男女共同参画都市宣言に基づき、男女共同参画を広く市民へ浸透するよう、あらゆるメディアを活用し啓発に努め、市民の男女共同参画への意識向上を図るための学習活動の機会としてのセミナーや講座などの内容をより充実したものを企画していく。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>男女共同参画社会を推進することは、男女が対等なパートナーとして認め合う社会を作ることであり、地域の活性化に繋がると思われます。 これからも、市民に親しみのあるセミナー、講座を開催していただき、啓発に努めてほしい。</p>	

## 柱全体のまちづくり評価

### ◆柱全体の得られた成果

男女共同参画都市宣言を実施したことにより、広く市民に男女共同参画社会の推進を啓発していくきっかけができた。

広報こうなん、ホームページ、ポスター掲示等による啓発活動や各種団体との連携を図り、生涯学習活動への参加を呼びかけ、前年度並みの参加者を確保することができた。

### ◆柱全体の今後の課題

価値観や生活スタイルの多様化に伴い住民参加型の生涯学習活動が求められており、社会教育指導者の育成と活用が必要である。また、市民の生涯学習意識を高めるため、様々な広報活動が求められる。

すべての世代に対し生涯学習活動へ参加できるような講座、講演会を実施する必要がある。特に若年層及び勤労者層の参加を重点とした講座、講演会を企画することが必要である。

### ◆柱全体の今後の取り組みの方向性

多様化した市民ニーズに対応するため、人材バンクの活用を活発化する。また、市民ニーズを的確に把握する必要があり、アンケート調査や各種団体との密接な連携を推進する。

一人ひとりの個性と能力が活かされ、それぞれの生き方が尊重される男女共同参画社会を実現するため啓発に努める。

# まちづくり評価シート

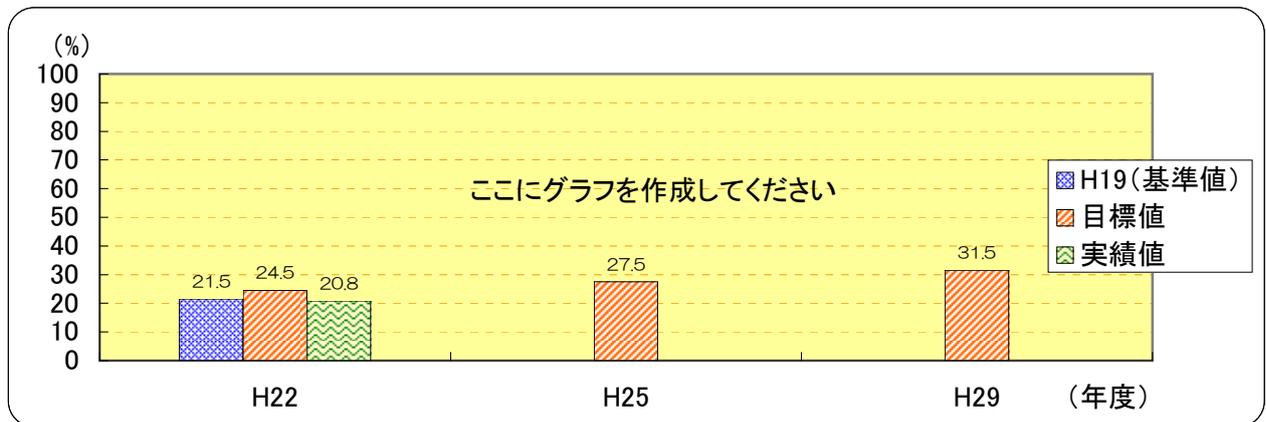
## 教育部【担う分野:IV 教育分野】

生涯学習課【担う柱:4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実】

### ◆まちづくり（成果目標）の達成状況

**全体目標** 市民の文化活動や国内外の交流活動が活発に行われ、心豊かな生活を送っている

指標名	文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	24.5	文化芸術活動を行っている市民の割合について、平成21年度の実績値が平成18年度の基準値1.3を下回り1.1に減少しています。これは、江南市文化協会の会員が高齢等により脱会している傾向が要因の一つとして挙げられます。また、安定した仕事に就けない、仕事に追われ健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られるような、最近の社会環境の変化が、余暇の時間の過ごし方にも少なからず影響を与えていると思われる。このようなことから、文化芸術活動を行い心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合が減少していると思われる。このため、平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果では20.8%という結果になり、達成状況としては雨マークが表示され、目標を達成できていない。
実績値	%	21.5	20.8	
達成率	%	—	0.0	
達成状況	—	—	↓	



**全体目標に対するまちづくり評価**

文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合が20.8%で目標を達成できていないので、今後は市民の文化をより一層の向上を図るため、文化活動の拠点である市民文化会館を中心し、市民に親しまれる各種事業を展開する必要がある。そのためには、市民アンケートを実施するなどして、市民の声を聞くことに努めていただきたい。

様々な国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、江南市国際交流協会との連携は必要不可欠である。同協会の事務局である生涯学習課は、今後も支援をお願いしたい。また、地域においてボランティアの育成を図っていただきたい。

### 個別目標① 市民が文化芸術活動を積極的に行っている

指標名	文化芸術活動を行っている市民の割合					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	1.3	1.3	1.4	・文化振興事業 ・美術展事業 ・文化協会事業
実績値	%	1.3	1.3	1.1		
達成率	%	—	100.0	0.0		
達成状況	—	—	☀	↑		

取り組みの状況	
市民	市の主催する、武功夜話セミナー、民謡講習会、教養講座や美術展への出品、文化協会主催の「文化祭」に参加した。
市役所	武功夜話セミナーへの関心が深まっており、昨年まで文化会館の第1会議室から小ホールに会場を変更した結果、160人から250人に増加した。また、民謡講習会の会場を武道館からすいとびあ江南に変更した。

指標名	市民文化会館の稼働率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	49.3	50.1	50.8	・市民文化会館管理運営事業 ・市民文化会館設備改修事業(第1期) ・市民文化会館設備改修事業(第2期) ・地上デジタル放送調査事業
実績値	%	47.8	48.2	49.5		
達成率	%	—	97.8	98.8		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	市民文化会館指定管理者が企画する自主事業に参加した。また、会議や作品展示、芸術活動のため、会議室や大・小ホールを利用した。
市役所	市民が安心して市民文化会館を利用するため、市民アンケートをとり、意見や要望を把握した。また、運営委員会を開催し、指定管理者と事業内容などについて協議を行った。21年度よりモニタリングを実施し、自己評価をしつつ、市民サービスの向上を図った。

目標達成のための今後の展開方針
今後、文化会館等利用しているグループが文化協会に加入するよう、啓発していきたい。また、市民文化会館の大・小ホールの利用について、今まで申込ができなかった利用日の前1ヶ月にあたる日から利用する前15日までの間について申し込みを受け付け、その間の利用料金の割引制度がスタートしたことを、いろいろな機会を通して啓発していく。

個別目標に対するまちづくり評価
市民が芸術文化事業に関心をもつためには、市が美術展や講演会、セミナーや教養講座など多種多様のイベントを開催するとともに、PR活動を積極的に実施していただきたい。 また、活動拠点の市民文化会館が市民にとって利用しやすい環境に整えていただきたい。その一環として、市民文化会館大・小ホールの利用方法や文化会館の自主事業のPR活動を積極的に行うなどし、市民サービスの向上を図っていただきたい。

**個別目標② 郷土の歴史・文化が正しく理解され、郷土に対する愛着や誇りをもっている**

指標名	指定文化財の数【国】					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	5	5	5	・文化財保護事業
実績値	件	5	5	5		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	管理者は国指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。

指標名	指定文化財の数【県】					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	9	9	9	・文化財保護事業
実績値	件	9	9	9		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	管理者は県指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。

指標名	指定文化財の数【市】					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	92	92	92	・文化財保護事業
実績値	件	92	91	91		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—	↑	↑		

取り組みの状況

市民	管理者は市指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。

指標名	登録有形文化財の数【登録】					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	2	2	2	・文化財保護事業
実績値	件	2	2	2		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—	☀	☀		

取り組みの状況

市民	管理者は市指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。
市役所	管理者に対し、登録有形文化財の保存、管理に努めるよう依頼した。また、現在、新たに1件、登録有形文化財の申請中である。

指標名	文化財普及事業への参加者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	5,723	5,762	5,800	・歴史民俗資料館事業 ・文化財保護事業
実績値	人	5,647	5,495	4,523		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—	↑	↑		

取り組みの状況

市民	市が主催する歴史民俗資料館の企画展などに参加した。
市役所	多くの市民が、歴史民俗資料館の展示物や文化財に関心をもっていただくために、各種企画展を開催した。また、中学生歴史教室を開催し、中学生に江南の歴史や文化財に対する関心を深めた。

目標達成のための今後の展開方針

最近の戦国武将ブームにあやかり、市内の歴史ボランティアグループと連携し、生駒屋敷跡や久昌寺、富士塚の碑などの文化財めぐりや、江南市ゆかりの戦国武将をホームページで紹介するなど、江南市の特性を最大限利用し、歴史に関心のある人を増やす。

個別目標に対するまちづくり評価

江南市は戦国武将織田信長に係わりのある史跡やお寺など文化財が豊富なまちである。最近の歴史ブームにあやかり、文化財のPRを積極的に行っていただきたい。併せて「文化財めぐり」などの事業を市が企画することも効果的であると思います。

個別目標③ 世界平和の重要性が認識され、在住外国人も安心して暮らしている

指標名	江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する外国人の数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	250	265	280	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値	人	220	260	300		
達成率	%	—	104.0	113.2		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業に参加した。					
市役所	様々な国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携し開催した。					

指標名	江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する日本人の数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	1,900	1,950	2,000	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値	人	1,800	1,950	5,500		
達成率	%	—	102.6	282.1		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業に参加した。					
市役所	様々な国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携し開催した。					

指標名	世界平和を願うパネル展の来場者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	1,249	1,275	1,300	・世界平和・国際協力推進事業
実績値	人	1,198	808	1,088		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—				

## 取り組みの状況

市民	市が主催する世界平和を願うパネル展に参加した。
市役所	平和の尊さ、原爆の悲惨さを広く市民に啓発するために、すいとびあ江南、市民文化会館、市役所ロビーにおいて平和パネル展を開催するとともに、市立全中学校で原爆パネル展や平和朗読劇を開催した。

## 目標達成のための今後の展開方針

国際交流事業については、今後も江南市と江南市国際交流協会との連携を図っていきます。活動拠点であります「ふくらの家」においての相談件数も多くなってきているため、相談に適切に対応できる支援員や相談員等の人材育成について支援していきます。

「世界平和を願うパネル展」の来場者が伸び悩んでいます。戦争の悲惨さや世界平和の重要性を若者に教え伝えるためにも中学校での開催を計画するとともに、メディアを活用したPR活動を積極的に行っていきます。

## 個別目標に対するまちづくり評価

長引く経済不況のなか、職を失った外国人に対し、市は、江南市国際交流協会と密接に連携し、雇用相談や日本語教室の開設など、定住外国人の目線に沿ったきめ細かい支援活動を行うよう要望します。また、国際平和の実現には国際交流を深め国際協力の推進を図ると共に、戦争の悲惨さや世界平和の重要性を市民に啓発することが必要と思います。今後も、次代を担う市内小中学生が戦争の悲惨さを学び、平和の大切さを理解できるよう、パネル展などを通して平和教育の推進をお願いしたい。

## 柱全体のまちづくり評価

### ◆柱全体の得られた成果

市民文化の向上を図ることを目的として芸術、文化の鑑賞、作品の発表など、活動拠点である市民文化会館を中心に事業を実施し、平成18年度から減少してきた市民文化会館の利用者並びに施設の利用件数がいずれも増加に転じた。

国指定天然記念物木曾川堤(サクラ)に、木曾川堤沿いの小学生にサクラの樹種名を記したプレートを作成していただき、指定文化財の大切さを認識してもらうことができた。

国際交流事業については、不況のあおりを受け、職を失った外国人に対し、緊急雇用創出事業を活用し、雇用相談員を雇用したり、日本語ができない外国人に対し日本語教室を開設し、雇用を促進することができた。

### ◆柱全体の今後の課題

芸術、文化活動の拠点である市民文化会館の利用者に対し、市民アンケートをお願いしているが、「大ホールや小ホールにイベントがあると、利用するにも駐車スペースがない」と、駐車場不足が指摘されている。また、長年、市民文化会館等で日本の伝統文化を継承してきた、江南市文化協会の加入者が高齢化等により減少している。国際交流事業については、市が江南市国際交流協会に、外国人生活支援員設置業務、外国人雇用相談員設置事業、日本語教室開催事業など多くの業務を委託している。これらの業務を活動拠点「ふくらの家」で行っているが、多くの外国人が出入りし、施設自体手狭となっている。また、これらの事業に対応できる支援員や相談員等人材育成が急務である。

### ◆柱全体の今後の取り組みの方向性

文化活動の拠点である市民文化会館が市民に愛され、利用者が増加するよう、会館利用者からの意見や要望を聞くと共に、駐車場問題についても市民文化会館運営委員会においてその検討を行う。また、平成21年度から四半期ごとに実施しているモニタリングにおいて、施設側と市側で相互評価を行い、市民サービスの向上並びに施設整備の充実を図っていく。また、文化協会加入者の減少については、市広報での会員募集記事の掲載や、各公共施設で活動中の団体に新規加入を促すよう働きかける。

国際交流事業については、現在の活動拠点を増やす必要があり、その施設を検討していく。また、その専従事務者の確保も必要となる。フレンドシップ国であるミクロネシアへの直行便が平成23年度に就航する予定であり、今後も相互交流など行い、交流を深める。